

和歌山県串本町から得られた北限記録のドクウツボ

大西 遼¹・是枝伶旺²

¹ 〒 649-3514 和歌山県東牟婁郡串本町有田 1157 串本海中公園センター

² 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-24 鹿児島大学大学院連合農学研究所

はじめに

ドクウツボ *Gymnothorax javanicus* (Bleeker, 1859) は、主にサンゴ礁域の浅所に生息する大型のウツボ科魚類である(波戸岡, 2018)。本種はインドから太平洋の熱帯・亜熱帯域にかけて広く分布し(波戸岡, 2013)、日本国内では小笠原諸島、薩摩半島、大隅諸島、および琉球列島から報告されている(波戸岡, 2013; 本村, 2023)。

2023年11月26日に和歌山県串本町で1個体のドクウツボが採集された。2023年12月現在、本個体は串本海中公園センターで飼育展示されている。本個体は本州からの初記録であり、分布の北限を更新する記録であるためここに報告する。

材料と方法

2023年11月26日に、和歌山県串本町須江の須江崎沖水深30mからウツボ籠により採集され、串本海中公園センターに搬入された。搬入時、メジャーを用いて全長を測定した。本報告に用いた生体標本(KMPC-102301F)は、2023年12月現在、串本海中公園センターで飼育展示されており、今後死亡した際は串本海中公園センター(KMPC)で液浸標本として保管する予定である。

結果と考察

Gymnothorax javanicus (Bleeker, 1859)

ドクウツボ (Fig. 1)

生体標本 KMPC-102301F, 全長910.0 mm (2023年11月26日計測), 和歌山県東牟婁郡串本町須

江 須江崎(紀伊大島; 33°26'56"N, 135°49'59"E), 水深30 m, ウツボ籠, 2023年11月26日, 福島勝司。

同定 和歌山県串本町で得られた個体は、体が伸長した円筒形でやや側扁する、背鰭始部が鰓孔より前方にある、肛門が体のほぼ中央に位置する、吻がやや丸みを帯び、両顎は完全に閉じられる、歯はすべて鋭く、主上顎骨歯は1列で切縁に鋸歯はない、体には地色より濃い多くの暗色斑がある、および鰓孔が黒く縁取られるなどの特徴が波戸岡(2013)の示したドクウツボの特徴によく一致したため、本種と同定された。

分布 本種はインドから太平洋の熱帯・亜熱帯域にかけて広く分布する(波戸岡, 2013)。日本国内では小笠原諸島、薩摩半島、大隅諸島、および琉球列島から記録されており(波戸岡, 2013; Koeda et al., 2016; Motomura and Harazaki, 2017; 木村ほか, 2017; Nakae et al., 2018; 日比野, 2019; 田中ほか, 2020; Motomura and Uehara, 2020; 下瀬, 2021; 日比野ほか, 2021; 和田ほか, 2021; 小枝, 2022; Motomura, 2023)、本研究により新たに和歌山県串本町から記録された。

備考 ドクウツボの分布は「分布」の項に示した通りであり、これまでの日本国内における分布の北限は薩摩半島南部に位置する南さつま市坊津町で撮影された写真に基づくものであった(小枝, 2022)。今回、和歌山県串本町から得られた個体は、本種の本州沿岸からの初記録であるとともに、分布の北限を更新する記録である。本県

Onishi, R. and R. Koreeda. 2024. Northernmost record of *Gymnothorax javanicus* from Wakayama Prefecture, Japan. *Nature of Kagoshima* 50: 123–125.

✉ RO: Kushimoto Marine Park Center, 1157, Arita, Kushimoto-cho, Higashimuro-gun, Wakayama 649-3514, Japan (e-mail: onishi@kushimoto.co.jp).

Received: 10 January 2024; published online: 13 January 2024; https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_050/050-024.pdf

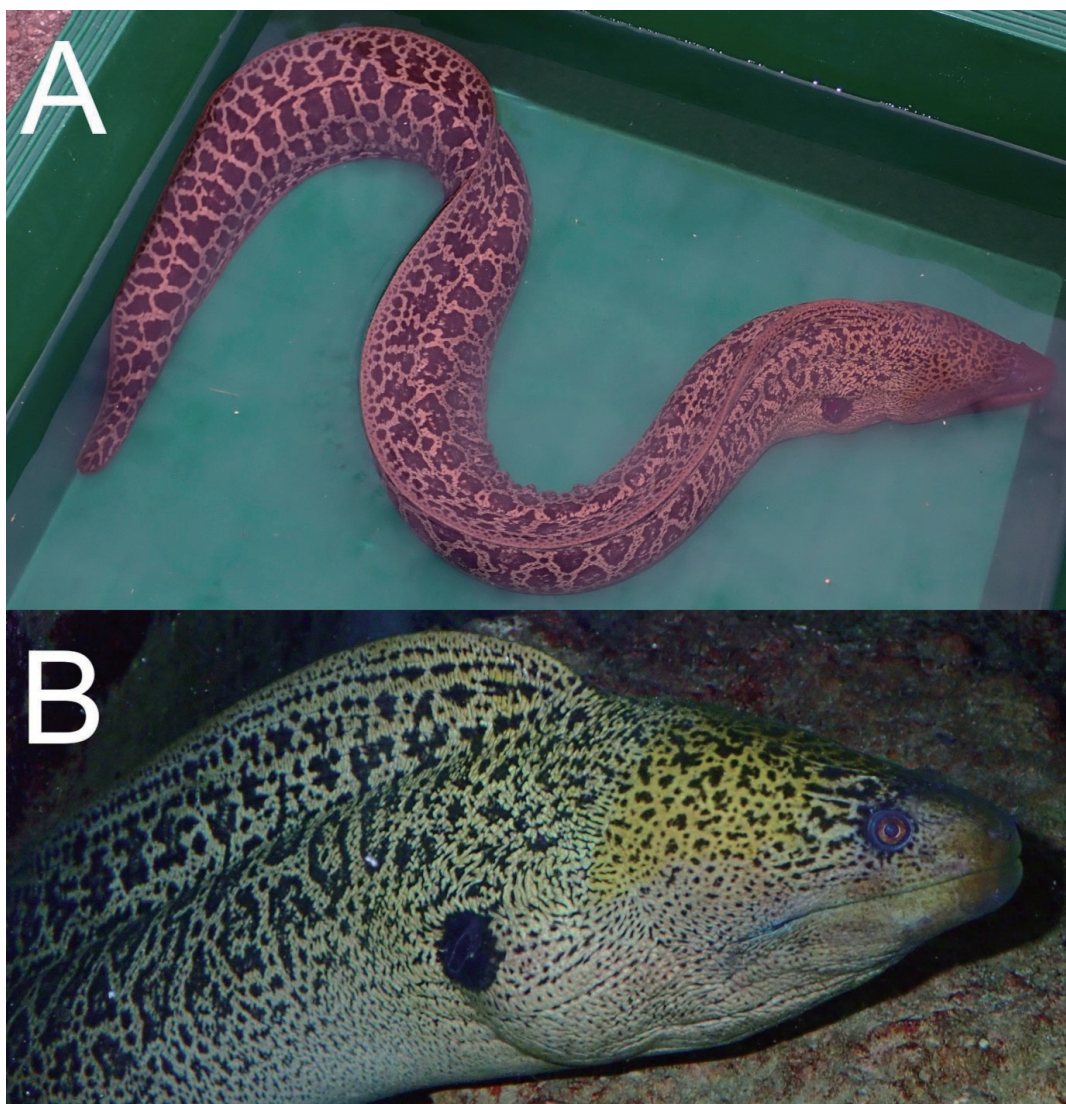


Fig. 1. Live individual of *Gymnothorax javanicus* (KMPC-102301F) collected from Wakayama Prefecture, Japan (A: dorsal view; B: lateral view of head).

串本町では2014年にも同町のダイバーにより本種と思われる水中写真が撮影されているが、その後目撃はされていない（谷口，私信）。串本周辺海域は黒潮の影響を強く受けるため、本来南方に分布する熱帯性魚類が偶発的に輸送されることが知られている（松尾・國島，2021）。本種が本県ですでに定着し再生産しているかは明らかではないが、九州以北における本種の記録は本研究の他になく、和歌山県内においても観察例が2例しかないことを考慮すると、今回得られた個体は卵や仔魚期の段階で黒潮によって南方域から偶発的に

輸送されたものであると考えられる。また、採集された個体は全長900mmを越える小さくはない個体であり、和歌山県における越冬の可能性も示唆される。

謝 辞

JF 和歌山東漁業協同組合須江支所の福島勝司氏には生体標本を採集・寄贈していただいた。串本海中公園センターの松永康大氏には搬入と計測にご協力いただいた。マリンステージ串本店の谷口勝政氏には和歌山県串本町での出現状況に関す

る情報をいただいた。以上の方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

引用文献

- 波戸岡清峰. 2013. ウツボ科, pp. 244–261, 1786–1792. 中坊徹次(編). 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 秦野.
- 波戸岡清峰. 2018. ウツボ科, pp. 66–71. 中坊徹次(編・監修). 小学館の図鑑Z 日本魚類館. 小学館, 東京.
- 日比野友亮. 2019. ウツボ科, pp. 22–27. 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典(編). 2019. 奄美群島の魚類図鑑. 南日本新聞開発センター, 鹿児島.
- 日比野友亮・宮本 圭・桜井 雄・木村清志. 2021. 琉球列島における2016年1月の大寒波に伴い打ち上げられた2種の日本初記録種を含む海産ウナギ目魚類. 北九州市立自然史・歴史博物館研究報告 A 類自然史, 19: 13–26.
- 小枝圭太. 2022. ウツボ科, pp. 23–27. 岩坪洗樹・伊東正英・山田守彦・本村浩之(編). 薩摩半島沿岸の魚類. 鹿児島水圏生物博物館, 枕崎・鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
- Koeda, K., Y. Hibino, T. Yoshida, Y. Kimura, R. Miki, T. Kunishima, D. Sasaki, T. Furukawa, M. Sakurai, K. Eguchi, H. Suzuki, T. Inaba, T. Uejo, S. Tanaka, M. Fujisawa, H. Wada and T. Uchiyama. 2016. Annotated checklist of fishes of Yonaguni-jima island, the westernmost island in Japan. The Kagoshima University Museum, Kagoshima. vi + 120 pp.
- 木村祐貴・日比野友亮・三木涼平・峯苔 健・小枝圭太(編). 2017. 緑の火山 口永良部島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 200 pp.
- 松尾 怜・國島大河. 2021. 和歌山県串本町から採集された北限記録のミナミフエダイ *Lutjanus ehrenbergii*. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 6: 38–40.
- Motomura, H. and S. Harazaki. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes of Yaku-shima island in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 129 new records. Bulletin of the Kagoshima University Museum, 9: 1–183.
- Motomura, H. and K. Uehara. 2020. An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Okinoerabu Island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 361 new records. Bulletin of the Kagoshima University Museum, 12: 1–125.
- Motomura, H. 2023. An annotated checklist of marine and freshwater fishes from Tanega-shima and Mage-shima islands in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 536 new records. Bulletin of the Kagoshima University Museum, 20: 1–250.
- 本村浩之. 2023. 日本産魚類全種目録. これまでに記録された日本産魚類全種の現在の標準和名と学名. Online ver. 23. <https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/jaf.html>
- Nakae, M., H. Motomura, K. Hagiwara, H. Senou, K. Koeda, T. Yoshida, S. Tashiro, B. Jeong, H. Hata, Y. Fukui, K. Fujiwara, T. Yamakawa, M. Aizawa, G. Shinohara and K. Matsuura. 2018. An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan. Memoirs of the National Museum of Nature and Science, Tokyo, 52: 205–361.
- 下瀬 環. 2021. 沖縄さかな図鑑. 沖縄タイムス社, 那覇. 207 pp.
- 田中翔大・下光利明・瀬能 宏・宮崎佑介. 2020. 慶良間諸島渡嘉敷島渡嘉志久湾の魚類相: 144種の追加記録. 神奈川県立博物館研究報告(自然科学), 49: 107–118.
- 和田英敏・古橋龍星・山田守彦・藤井琢磨・吉田朋弘・Kunto Wibowo・荒木萌里・伊藤大介・赤池貴大・中川龍一・渋谷駿太・是枝伶旺・出羽優凪・餅田 樹・本村浩之. 2021. 徳之島初記録の魚類122種. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 7: 35–52.